



# Cross-cultural Diversity Activities and changes in Japan

## VIDEO TRANSCRIPT

### 活動の目的と具体的な取り組みを教えてください

多種多様な文化的背景を持つ我々のメンバーの間で、摩擦のないスムーズなコミュニケーションやコラボレーションを促進することを目的に活動を行っております。異文化という時にはもちろん、国境的な国の違いもあります。しかし、また職業的なバックグラウンドが違うということも含めますし、非常に広い意味を持っています。

具体的にどのような活動をやっているかといいますと、クロスカルチャーの環境でどのようにコラボレーションを促進するか、このためのトレーニングです。それから、色々な異文化交流会（Cross Culture Day）などを社内で実践しています。

### どのような思いで活動されていますか？

やはりアクセンチュアは今、日本の社員だけで2万人近い社員がおります。グローバルですと74万人ぐらいです。（※2023年6月現在）膨大なメンバーが、多種多様なタレントがおります。

このグローバルの74万人の力を結集して、そして自分のお客様にサービスを提供するというスタンスが極めて大事です。せっかくこれだけの仲間がいるので、多様な仲間と情報交換をしてお客様に価値をお届けする。こうしたマインドでもっとやったら価値が上がるであろうという思いで、この活動をみんなと一緒にしております。

### 活動による変化と今後目指す姿を教えてください

我々がまず社内でクロスカルチャーを高次元に実現していくということは言うまでもないのですが、さらにそこからお客様と一緒に新しいイノベーションを実現したいと思っています。

一つ事例を挙げますと、ある製造業のお客様ですけれども、グローバルに新しい業務のやり方、そしてシステムを展開していくというプロジェクトがありました。これをあえて、海外からスタートして全部英語のプロジェクトとして実行していく。日本のお客様がそうした意思決定をされました。我々アクセンチュアは、日本語を話さないメンバーを全員配属しました。日本人のお客様と我々の Non-Japanese のメンバーがコラボレーションしながら、このような新しいやり方を導入しております。

お客様と一緒にイノベーションを起こしていく。このためにクロスカルチャーはその土台となっているということです。お客様に対しても好影響をご提供し、そして社会全体がよりクロスカルチャーなことを許容する、そういう社会になっていけばいいなと思っています。

Copyright © 2023 Accenture  
All rights reserved.

Accenture and its logo are  
trademarks of Accenture.